

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県名【滋賀県】 学校名【甲賀市立柏木小学校】

1 実践テーマ	【I】
2 実施対象者	全校児童および保護者
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（総合的な学習・道徳・学級活動） ② 行事名（　　—　　） ③ その他（　　—　　）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（　　—　　） ② その他（　　—　　）</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のあるアスリートからお話を聞くことで、障がい者や障がいについて考える機会となり、人に対して自分のできることを学ぶことができる。 ・児童はもとより保護者にも生涯にわたってスポーツをする楽しさや大切さについて考える機会となる。 ・目標をもつこと、目標に向かって行動することの大切さに気づくことができる。 ・将来の自分の夢や憧れについて語れる糸口となる。
5 取組内容	<p>1 講演</p> <p>親子人権集会で児童、保護者、教職員を対象にパラトライアスロンの競技について経緯や競技に対する想い、面白さについて、また、小学校期の夢や憧れについての講演</p> <p>2 簡単トライアスロン教室</p> <p>3 記念撮影</p>
6 主な成果	<p>今回の事業を終えて、1～6年と年齢に差はあるが、それぞれの発達段階に応じて、以下のことについて成果が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害のあるアスリートからお話を聞くことで、障がい者や障がいについて考える機会となり、人に対して自分のできることを学ぶことができた。 ・目標をもつこと、目標に向かって行動することの大切さに気づくことができた。 ・将来の自分の夢や憧れについて語れる糸口となった。

	<ul style="list-style-type: none"> 児童はもとより保護者にも生涯にわたってスポーツをする楽しさや大切さについて考える機会となった。 <p>今後、この事業を学習や日常生活にいかせるよう指導していくたい。</p>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> 全校児童だけを対象とするだけでなく、授業参観と日を兼ねることで保護者の参観を取り入れたこと。 講義だけでなく、体験コーナー「簡単トライアスロン教室」を設けたこと。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> 宇田氏に1年生から6年までの発達段階に応じたお話をいただくことを苦労していただいた。 試合や遠征、練習等、多忙な現役の選手を招聘することについては、日程調整が難しかった。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> 検討中



宇田選手から「何事も前向きに！」についてお話を聞きました。



宇田選手と一緒に「簡単トライアスロン教室」ストレッチ運動！



バイクの試乗体験！



宇田選手ありがとうございました！
1年生から花束贈呈